

【今月の目次】

1. 校務 DX を始めるなら今！！
- 2.ICT 活用ワンポイント講座「パスキーについて」
- 3.コラム「パスワード管理に関する注意喚起と推奨設定について」



1. 校務 DX を始めるなら今！！

校務 DX の推進に向けた取組はいかがでしょうか。本通信では、過去 4 回にわたり校務 DX について触れてきましたが、実は校務 DX を始めるなら「今」が一番のタイミングなのです。

「え？4 月からじゃないの？」と思われた方も多かもしれません。しかし、4 月はメンバーの入れ替えや新年度の業務に追われ、どうしても「今まで通り」のやり方に流されがちです。だからこそ、今の時期に「削減したいこと」や「変更できること」をリストアップしておくことで、スムーズに 4 月のスタートを切ることができます。今年度の流れを熟知している「今」だからこそ、具体的な課題や改善案が出てくるはず。ぜひ、全員の知恵で校務 DX を一歩進めるために、このタイミングを活かしてみてください。

さて、今回は AI ツール、Microsoft の「Copilot（コパイロット）エージェント」と、Google の「Gem（ジェム）」をご紹介します。最近注目されているこれらの AI ツールは、簡単に言うと「特定の仕事に特化させた、あなた専用の AI アシスタント」です。組織の業務内容に合わせてカスタマイズでき、根拠となるデータをもとに資料作成や分析を効率的に行います。例えば、学校紹介の資料づくりのために、今年度の学校要覧や学校パンフレット、過年度の学校紹介の資料の情報を読み込ませておいて、今年度版の資料のたたき台を作成するようなことができます。また、新入生向けや保護者向けといった配布の対象者に合わせたアレンジも簡単です。

来年度、総合教育センターでは、これらを使って業務の効率化を進める検討をしています。「わが校オリジナルの生成 AI」がある未来、なんだかワクワクしませんか？

こうした総合教育センターでの校務 DX の具体的な取組については、2 月 19 日（木）午後に実施予定の「センター研究大会」にて報告いたします。情報教育チームは前半の「研究発表①」の中で発表しますので、ご参加いただければ必ずご覧いただけます。

校務 DX や生成 AI に興味をお持ちの皆様、ぜひご参加ください。多くの学校で校務 DX がさらに進むことを期待しております。



2.ICT 活用ワンポイント講座「パスキーについて」

パスキーはセキュリティと利便性の高い認証方法として、Web サイトやサービスを安全に利用するための技術です。パスワードの代わりになるログイン方法で、パスキー登録時に生成・保存

される鍵を使い、指紋や顔認証などで安全に利用できます。基本的な仕組みは次のとおりです。

- ①端末に保存された鍵を使い、指紋や顔認証、PINなどで本人確認を行います。
- ②登録した端末の鍵がなければ認証できないため、他の端末からは直接利用できません。
- ③ただし、Apple や Google の同期機能を使えば、暗号化された鍵をクラウドで安全に共有し、同じアカウントでログインしている複数の端末で利用可能です。

注意点は、端末に鍵が保存されているため、端末の紛失や故障・買い替え時のバックアップや同期設定などについて、対応方法を事前に調べておく必要があることです。



3.コラム「パスワード管理に関する注意喚起と推奨設定について」

近年、教育現場において情報セキュリティの重要性が高まっています。特に、パスワードの漏えいは、個人情報や校務データの不正利用につながる重大なリスクです。以下の点に留意し、適切な管理を徹底してください。

I. パスワード漏えいの危険性

パスワードが第三者に知られると、成績や個人情報の改ざん、外部への情報流出など、教育活動に深刻な影響を及ぼします。SNS やメールでの不用意な共有、メモ書きの放置は厳禁です。

II. パスワードの文字種と文字数

安全なパスワードは、以下の3点を推奨しています。

- ・文字数が12文字以上
- ・文字種は英大文字・英小文字・数字・記号を組み合わせる
- ・推測されやすい情報（氏名、誕生日、学校名など）は使用しない

※以前はパスワードは8文字以上を推奨していましたが、現在は12文字以上を推奨しています。現在のPCで総当たり攻撃にかかる時間の目安は、8文字の場合、数時間～数日で突破されてしまいます。しかし12文字の場合、同じ環境では、数百万年単位の時間が必要で、現実的に突破するのはほぼ不可能です。つまり、8文字は「昔の標準」で、現在の計算能力では非常に脆弱です。12文字以上は、現代の攻撃手法に対して圧倒的に安全性が高く、推奨される長さです。

III. 推奨するパスワードの作り方

覚えやすく、かつ強度の高いパスワードを作成するために、次の方法をお勧めします。

フレーズ法：「好きな言葉や文章を略して記号を挟む」

例：「私は毎朝コーヒーを飲む」→ WataShi#MaiAsaCoffee!

ランダム生成+管理ツール：PW管理ソフトを活用し、複雑な文字列を自動生成・保存する情報セキュリティは一人ひとりの意識から始まります。安全なパスワード管理を心がけ、教育現場の信頼を守りましょう。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「キャッシュ (cache)」

インターネットの表示を速くするために一時的にデータを保存する仕組み。同じ Web ページ

を開くときにサーバーへ再アクセスせず、保存したデータを使う。ただし、古いキャッシュが悪さをして、画面が更新されないことがある。特に共有端末では、キャッシュが残って情報が見えてしまうリスクがある。(参考：独立行政法人 情報処理推進機構ホームページ)

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492